

子ども読書週間は読書のド♪
4月23日▶▶5月12日



子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「子どもの読書週間」です。

MOE 絵本屋さん大賞 2018

毎年恒例の雑誌 MOE の絵本屋さん大賞 2018 の上位 10 位を紹介しています。『おしっこちょっぴりもれたろう』『あめだま』『クマと森のピアノ』などの作品の展示です。



「本で知る皇室」

▶5月26日まで
『美智子さま御歌千年の後』『天皇陛下「生前退位」への想い』などおすすめの本を展示します。

新着図書から



『KOMONO』湯の山温泉開湯 1300 年記念写真集 一般書
▶市川タカヒロ / 写真
▶Lights Gallery (L748/イ)
湯の山温泉開湯 1300 年を記念して、菰野町の魅力を発信する写真集ができました。普段から見慣れている風景が新たな視点で鮮明に映っています。見る人によって菰野町の新たな発見があるかもしれません。まずは手に取ってみてはいかがでしょうか？



『5秒後に意外な結末 アポロンの黄色い太陽』ティーンズ
▶桃戸ハル / 編著
▶usi / 絵
▶学研プラス (J913/モ)
中高生に人気のシリーズ。この1冊に1話完結の1~2ページの話が100話集録されています。どこから読んでも、楽しめる物語ばかりなので、少しの空き時間に気軽に読むことができます。



『いまのわたしにできること』児童書
▶リサ・パップ / 作
▶菊田まりこ / 訳
▶WAVE 出版 (E/バ)
図書館から子犬をもらったマティ。捨てられた動物がたくさんいることを知り、命を育てることの責任について考えます。動物たちのために何かできないかと苦悩するマティの『わたしのそばで生きていて』の続編です。

5月 図書館カレンダー
CALENDAR

1 水	
2 木	ティーンズにおすすめ「R本」企画展 ▶5月5日まで
3 金	
4 土	
5 日	14:00~ 子どものための絵本ライブ&おりがみ
6 月	
7 火	「改元記念 谷泉石書作展」 ▶5月7日から5月12日まで
8 水	
9 木	16:00~ 英語のおはなし会
10 金	
11 土	14:00~ 楽しいおはなし会
12 日	
13 月	休館日
14 火	
15 水	
16 木	
17 金	
18 土	
19 日	
20 月	休館日
21 火	
22 水	
23 木	
24 金	
25 土	13:30~ 民話がたり 14:00~ 楽しいおはなし会
26 日	
27 月	休館日
28 火	休館日
29 水	
30 木	「竹細工・木工作品展示」 ▶5月29日から6月5日まで
31 金	

郷土史・風俗

第62回 菰野の相撲

相撲のはじまり

日本の国技といわれる相撲は、野見宿禰と当麻蹶速が力比べをしたことが始まりと言われています。平安時代には毎年7月を相撲節会と呼び、天覧相撲が年中行事となっていました。また、農村では相撲の勝ち負けが作物の豊凶を占う神事となっていました。鎌倉時代になると、武士の間で武技の一つとなり、室町時代からは庶民の間で盛んになりました。江戸時代になると大名が力士を抱え、また将軍の上覧相撲なども行われて次第に一般大衆にも人気を呼び、今日に至っています。

藩主と相撲

元禄時代以降に、大名・諸侯が競って人気力士を召抱え、扶持を与えて相撲取りの生活を支え、また屋敷に土俵を設け、親しい大名を呼んでともに相撲を見物する、こうしたことが一つの流行となりました。菰野藩においても7世土方雄年は、寛政元年（1789）領内水沢村出身の伊勢が浜荻右衛門を三人扶持で召抱え、のちに鏡岩助市に五人扶持を与えています。こうした藩主の相撲好きが菰野領下に相撲の盛んになる基になりました。



町長のひとり語りの

The Story of our Mayor



Theme 02 ふるさと納税

本日は、何かと話題に上がることが多いふるさと納税制度について考えてみましょう。ふるさと納税とは、もともとは自分を育ててくれたふるさとにいくらかでも寄付をして応援したいという思いに応える制度です。ある自治体に寄付すると寄附をした人が住んでいる自治体へ納めるべき税金が控除されるという仕組みで、実は別の自治体に納税をするわけではありません。しかし、お金の動きとして税金を納める自治体を選べるようにみえることから、ふるさと納税というわけです。

野町の収入が3000万円以上減っているという事です。平成28年度には1200万円以上、平成29年度は2200万円以上が控除されており、毎年かなりの町税が菰野町のために使えなくなっているという現状です。この金額は、たとえば中学生の通院医療費を無料にするのには年1500万円程度必要ですから決して少ない金額とはいえません。

現在、菰野町も寄附は受け付けていますが、ふるさと納税のさらなる拡充のため、たとえば返礼品を用意する、ポータルサイトに掲載するなど、さまざまな取り組みについて検討をしています。

